

発電機のいったん停止へ共同を!

「眠れない」「母乳出なくなった」



開会のあいさつをする森下総子共同代表

■2月5日に開催された「米軍基地いらない京都府民の会」代表者会議

2月5日「米軍基地いらない京都府民の会」は、代表者会議を開催し、各団体・個人から31名が参加しました。篠原真弓・京都安保破棄実行委事務局長の司会で、始まった代表者会議では、冒頭、森下総子・府民の会共同代表（新婦人京都府本部会長）が「12月26日からのレーダー運用開始で、騒音、とりわけ低周波がひどく、戸を閉めても突き抜け、里帰りしたお母さんの母乳が出なくなったり、眠れないという日が続いている。京都に、近畿に米軍基地いらないと、腰をすえてとりくみをすすめて」と開会のあいさつ。京都平和委員会・片岡事務局長が「経ヶ岬の米軍基地の現状と今後について」と題して報告。辻事務局長が経過と今後のとりくみ、会の名称・体制の変更、新署名など提案。11名の方から発言があり、辻事務局長のまとめの後、確認し閉会しました。

片岡 明・京都平和委員会事務局長の報告(要旨)



経ヶ岬にレーダーは本当に必要なのか。現在、米軍は、宇宙からも、海上からも、ミサイル防衛体制を敷いている。日本に二つもつくる異常さ。①ミサイル防衛は、集団的自衛権なくして成り立たないという危険性を持つこと、②車力は「分遣隊」だが、経ヶ岬はグアムの「中隊」として位置づけられ、また、舞鶴・白浜にイーシス艦の誘導弾整備所ができたことから、京都全体がミサイル防衛の拠点となっていくこと。③事故・騒音（低周波）・ミサイルなどを止めていくことが大切。

辻 昌秀・府民の会事務局長の報告と提案(要旨)

12月26日に本格稼働の通告と運用開始がされ、基地建設工事は第一期工事が終了。第二期工事(排水・住居)と続くが、発電機の騒音(低周波)問題が放置されたまま運用されている。

①住民の安全・安心の確保に全力をあげる。米軍が「マフラー設置」をするとし、防衛省は関電から供給するとしているが「相当時間がかかる」。低周波は壁を突き抜けることから、騒音問題は放置できず、解決するまで運用のいったん中止を求めていく。

②米軍基地の危険性を広く知らせ、米軍基地の撤去の取り組みを進める。

さらに、安全・安心問題に関わって、

①交通事故に関して、日本の免許取得に準じた講習と許可証、それに達しない者には運転許可を与えないよう求める。

②軍属の居住地、夜通し照明、排水、銃携帯警備、環境・景観など、引き続き取り組む。

③自治体に対し、米軍・防衛省が約束しながら未履行の部分の確実な履行を求める。また、米軍基地に関わり派生する諸問題の正確な把握を求める。

④自由法曹団の協力で、相談や情報提供できる「連絡センター」を早期に発足させる。

⑤騒音問題と基地撤去での新署名に取り組む。

【名称変更】

現：「米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会」→

新：「米軍専用レーダー基地の撤去を求める京都府民の会」に

(略称は「米軍基地いらない京都府民の会」で変わらず)

【体制(変更のみ・敬称略)】

事務局長 新・片岡 明(京都平和委事務局長)

事務局次長 新・篠原 真弓(安保破棄京都事務局長)・辻 昌秀

【財政】(略)

・発行：米軍専用レーダー基地の撤去を求める京都府民の会(略称：京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター-気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

■代表者会議での発言(要旨)

◆京都自治労連副委員長・新田 昌之さん

住民の安全・安心が担保されないもとで、健康調査を実施してはどうか。また、米軍の事故は横田基地裁判の研究も必要では。

◆京都府職労連委員長・森 吉治さん

問題の焦点が整理されよくわかった。マスコミに問題点の発信を。府議会に向け原発問題と併せ現地からの訴えも。知事の発言と矛盾する。府民的な包囲を。

◆民医連事務局次長・藤岡 孝之さん

現地には宇川診療所廃止の問題もある。会として、聞き取り調査のとりのくみを。

◆日本共産党府会議員・かみね 史朗さん

昨日(4日)、KBSのTV討論の録画撮りがあり、直ちに発電機の中止を主張した。自民・多賀氏は「協力する立場を表明。日曜日(8日)に放映予定。

◆大阪安保破棄実行委事務局長・植田 保二さん

丹後出身者の会のとりのくみは、過疎で人口減の与那国島の経験からも大事だ。大阪にも、丹後出身者がいる。地位協定などネットワークの運動を。

◆自由法曹団弁護士・尾崎 彰俊さん

自由法曹団として、相談センターに全力を挙げたい。28日に、峰山町で沖縄の新垣弁護士を招き、自由法曹団で地位協定の学習会を開催する。

◆丹後人の会・江上 由香里さん

12月16日に結成総会をし、会員募集のリーフも作りアピールを出した。月1回の事務局会議ですすめている。長いたたかいになるが、現地に寄り添いすすめる。

◆京都母親連絡会事務局長・衣笠 洋子さん

これから基地撤去のたたかいが始まる。原発と併せ、電力供給も関電かという思い。週末に近畿ブロックの会議があるが、きょう学んだことを報告・発言したい。

◆京教組書記長・中久保 弘志さん

総行動での位置づけを。憲法を守りひろげる京都のたたかいとして広げていくことが重要だ。

◆新婦人京都府本部委員長・森下 縉子さん

騒音問題で、丹後連絡会が今後アンケート行動がされると聞いている。新婦人は、26日に宇川地区の訪問を計画し、「みんなで行こう」と呼びかける。

◆日本共産党京都府委員会常任委員・池田 文穂さん

京丹后市議会が、騒音問題で追い詰められている。住民の声が議会と市を動かそうとしている。基地交付金をもらっていたら、産業も観光もすたれる。集团的自衛権の最前線の危険な基地となることを知らせることが重要。

◆個人・長砂 實さん

幅広い「会」の構成団体を増やす努力を。組織活動が中途半端ではないか。

■辻事務局長のまとめ

「2・25総行動については、すでに配置しており、全体にも案内したい。聞き取り調査については、健康

調査も含め現地でアンケートの原案を固め、訪問活動が具体化される。もっと幅広くすすめるため、事務局でも議論をしていく。新署名については、1つにまとめた。2月9日の現地の会議での議論をふまえ広めていきたい。騒音問題一点での共同も進められる。基地の撤去を求めるとともに、住民の安全・安心問題に全力をあげる。

基地に賛成の議員も騒音・低周波には異論!!

議員懇談会における、基地問題での議員の発言

(1月28日・宇川谷内地区)

◆安達 昌久議員 (網野町)

・私は、基地に賛成した一人です。交通事故の問題、騒音の問題、特に低周波の問題、健康被害がひどいことのお話を承っております。私としても申し訳なく、頭を下げてでも皆さんの思いを議会の中で訴えていきたい。それも時間がないという中でやっていかねばならないと思っております。

◆金田 瑠仁議員 (峰山町)

・私も基地に賛成した議員です。騒音のことはほんとに由々しき問題でありまして、いかに受け入れに賛成した議員でもこのことは許せんぞ、折り合うつもりはないということです。今、日米地位協定の壁というものを感えています。騒音のことでこんなに早く壁にぶち当たるとは思ってもみませんでした。

◆吉岡 豊和議員 (弥栄町)

夕方に音を聞きに行ってきました。穴文殊は相当なものでした、袖志尾和でも聞いてみました。波の音も大きかったです。ポーという低周波が気になりました。地元の人に聞くと漁場の方でも聞こえるとのことで大変深刻だと思っております。市長に対しても改善策をもっともっと要求していくべきだと考えています。

◆松本 経一議員 (大宮町)

・大変深刻に思っております。先週は東京へ行って防衛問題に詳しい国会議員を訪ね、直に伝えました。車力へは実際に行っただけでしたが、こちらの騒音は車力とは全然違う音でしたので、我々が行った時には出力を落としていたのではないかとこの疑念を持っています。その事も伝えました。いつまで何をするのかという期日を具体的に言ってほしい、頑張りませただけでは承知できませんと言ってきました。

◆岡田 修議員 (久美浜町小桑)

・私は中立の立場でした。市民の安全安心、特に宇川地域の安全安心は絶対に守らねばならないと思っております。重く受け止めて、特別委員会の委員でもありますので皆さんからの要望は特別委員会で十分議論して、もちろん市長、その上にもあげることができればやっていきたいと思っております。

◆芳賀 祐治議員 (丹後町)

・私も車力へ行ってきまして、音が全然違うと感えています。袖志の区長さんが海苔摘みをしているのに出会って話を聞きますと、「夜ども寝られへんで」と深刻に言われていました。防音のことを済ませてもらってから動かすのが筋で順番が違うだろうと私も思っていました。

●過去の「米軍基地いらない京都府民の会」のニュースは、下記のURLでご覧になることができます。
<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>